

## 群馬大学における教養英語教育改革の取り組み — グローバル人材育成を目指して —

国際交流委員会研究国際交流作業部会  
大学教育センター 飯田 敦史

群馬大学では、平成23年度より本格的な教養英語教育改革に着手してきた。最初に、私たちが取り組んできたのが、理工学部1年次の英語教育プログラムであった。旧カリキュラムにおいては、個々の担当教員の裁量に委ねた授業を実施してきたが、新カリキュラムでは、学部共通の「統一」プログラムを設計し、教育の質を保証できるものとなっている。新カリキュラムでは、4単位を必修とし、授業は「リスニング（「英語 AI」、「英語 AII」）」と「リーディング（「英語 BI」、「英語 BII」）」科目から構成され、英語運用能力の基礎の定着を目指すべく、インプットを重視した教育を実践している。本カリキュラムでは、習熟度別クラスを編成し、平成24年度からは1クラス30名前後の小規模クラスを実現することで英語学習によりよい環境を提供している。授業内では、統一教科書を使用し、言語学習ストラテジー（Language Learning Strategies）の訓練に重点を置く一方で、授業外では、多読（Extensive Reading）活動やオンライン学習（ALC Net Academy 2）を積極的に導入することで、学生が英語学習に取り組む時間を確保してきた。新カリキュラム導入の成果は顕著に表れ、以下の表が示すように、毎年実施している TOEIC-IP テストの平均点は伸び続け、統一カリキュラム導入前の平成21年度の平均点と導入後6年目の平成28年度の平均点を比較すると実に83.9点の伸びたことが見てとれる。

表 理工学部1年次教養英語カリキュラム概要と TOEIC テストの経年変化\*

Year	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
	Old Curriculum		New (Coordinated) Curriculum					
Revisions to Curriculum	Pilot Study	Class Size (40-50)	Class Size (20-32)			Entrance Exam		
		Textbook Pool	Designated Textbooks (Reading Power/Listening Power Series)					
		ER	160,000 words	190,000 words			220,000 words	260,000 words
		Vocab	JACET 8000	ALC NET Academy 2 PowerWords+				
TOEIC	355.3	369.0	387.4	394.1	413.7	400.5	435.3	439.2

本学での英語教育改革は理工学部のみにとどまらず、平成29年度より、教育学部においても教養英語統一カリキュラムを導入した。このカリキュラムは、理工学部のカリキュラムを踏襲したものであるが、こちらは2年間の教養英語プログラムとなっており、小学校における外国語（英語）教育に対応できる英語運用能力育成を目指している。本カリキュラムは、本年度より始動したこともあり、現時点で学生の学習進捗、カリキュラムの成果を客観的に評価することはできないが、理工学部における英語教育プログラムのような一定の成果が見られることを期待している。

現在、大学教育センターでは、理工学部1年次教養英語カリキュラムと教育学部教養英語カリキュラムを運営する一方で、平成31年度より導入予定の理工学部2年次教養英語カリキュラム設計に着手している。今回は、大学4年間の英語教育プログラムを視野に、特に教養英語と専門英語のつながりを意識したカリキュラムとなるように慎重に議論を重ねている。1年次のカリキュラムとは異なり、プレゼンテーションやプロジェクト・ワークを積極的に取り入れたアウトプット重視の授業を実践することで、実社会で使用できる英語を身につけることを目標としている。今後、理工学部教員と密に連携を図りながら、カリキュラム開発に取り組んでいきたい。

本学において、よりよい英語教育プログラムを提供できるように、大学教育センターではこれまで以上に学習環境を整備し、授業内外での学習支援を強化していきたい。

## 参考文献

飯田敦史編（2017）『群馬大学理工学部教養英語教育実践報告書 平成28年度』群馬大学大学教育センター外国語教育部。

Keith, B., & Iida, A. (2017, February 18). Challenges and successes in a coordinated English curriculum in the School of Science and Technology. The 6th Japan Association for International Liberal Arts (JAILA) Conference at Doshisha University, Kyoto, JAPAN.

## 注

\* この表は、第6回日本国際教養学会での発表資料（Keith & Iida, 2017）を一部加筆・修正したものである。